

# 志賀町における小学生のための英語教育活動および 金沢市立小坂小学校での英語科補助活動

団体名●人文学部小学校英語教育プロジェクト／代表者名●田中富士美(人文学部教授)

## はじめに

昨年度、人文学部田中富士美ゼミが3年次に行った「キッズサマーキャンプ2018 IN くまの」との小学生英語教育でのコラボレーションは、能登の人口の減少、過疎化の緩和にむけてそれぞれの行政、経営者、商工会議所、民間団体が協力し、県の政策も含めて真摯に取り組まれている中で、中能登、志賀町の民間団体との連携関係から生まれた。住民の意識の喚起のために様々なプロジェクトを行っているなかで大学生や留学生を色々な形で招聘した事業を展開して住民を巻き込む試みも続け魅力的な町づくりへの努力がなされている。2019年夏は、上記の民間団体「くまの地域づくり協議会」に「継続性をもって実施をしてほしい」との積極的な事業推進の言葉を再度頂戴し、2、3年生が新たな小学校教育プロジェクトチームを発足して活動を再開する運びとなった。昨年同様、人文学部の英語スキルが活かされ、且つ志賀町の小学生に夏休みの英語学習を提供できる相互協力の場として実施された。

また、この小学校教育プロジェクトチームは近隣の金沢市立小坂小学校で行われている英語科(6学年、週17コマ)の授業に補助として参加する活動も同時に行っている。

## 活動内容

志賀町の小学生英語教育は8月中旬に、3日間のキャンプの中1日を集中学習日とする英語教育プログラムとして、朝からスタートするこのプログラムが夕方終わるまでに、最後に設定したスモールプレゼンテーションの完成をターゲットとして、その表現に関することをすべてのアクティビティに盛り



込んで作りこまれている。イントロダクション、アイスブレイクアクティビティ、アルファベットカードゲーム、自分のこ

とを話そう、ワークシート等、学生たちが企画を行って臨んだ。

また、小坂小学校の活動においては、児童の学習のうち、スピーキングの部分でロールプレイの協力等を行っている。この活動については小坂小学校の英語専科の教諭、金沢市の英語講師のチームティーチングのアシスタントという立場で、学生が参加可能な授業に可能な限り参加するという活動である。

## 成果、結果の考察

昨年の活動同様、学生は、プロジェクトとしての英語教育の実践のためのプランでの学修効果、そして地域への理解、さらに当然ながら英語スキルのアウトプットの機会を得た。地域に対しては、本学人文学部生のグローバル人材としての認知、地元住民(小学生、スタッフ、保護者、地域住民)の皆さんとの交流、小坂小学校に対しても同様のことがいえるであろう。



## 今後の課題、展望

完成年度を終える人文学部から公立中・高英語教員を輩出することとなった。小学校英語教育は初等英語教育であり言語教育の専門性でいえば分野は少し分かれることとなる。しかしながら地域の小学生に英語教育の面で協力することは、本学から英語教育に携わる者を送り出すことと同時に、実践的に地域にその人材の存在を認知していただけることとなり、さらに語学教育の面でも地域に貢献・寄与できるものとして今後もさらに展開が望まれるものと考えられる。